

### III. 「組織」形式による協力・協業と情報（続）

#### B. 企業組織と情報

##### 1. 概要

###### a. 企業組織（business organization）とは

財・サービスの生産・供給のための組織

現代社会の生活水準を支える

高度な分業と協業

大規模化の傾向

大企業はなぜ中小企業より強力なのか（？）

企業金融（他人資本の利用）

「企業ガバナンス（統治）」

利潤追求を目的

企業構成員の目的（構成員所得の増大）とも一致

株主の利益とも一致（株式会社の場合）

企業組織・活動の「柔軟性」

与えられた情報に広じて目的達成のために活動内容を調整する

###### b. 企業組織の種別と多様性

###### (i) 分野別

ほとんどすべての部門・産業

規制下の部門における特別な形体（変化中）

農業、金融、エネルギー、通信

「公的企業」：交通、ユーティリティ

「非営利法人」：教育、医療、法務

公的サービス

###### (ii) 規模別

大企業

中・小企業

個人企業

(iii) 設立形体別 (企業金融形体別、リスク処理方法別)

個人企業 (無限責任)

会社企業

合名・合資会社 (無限責任)

有限会社 (有限責任)

株式会社 (有限責任)

現代における企業組織の主要な形体

多様化の傾向

「優先株」「転換社債」

**c. 企業組織・企業活動と情報**

企業活動の「状態」(現状と過去)に関する情報

(会社はどうなっているのか)

企業活動の「決定」(意思決定)に関する情報

(会社はどう動いているのか)

企業外部の「状態」(ビジネス環境)に関する情報

(会社はどのような環境におかれているのか)

**2. 企業活動の状態に関する情報**

**a. 企業活動の記録**

資産・資本

有形・無形、固定・流動、直接・間接

企業構成員 (社員)

履歴、評価、給与「職務」

組織構成と「業務」

経理・会計

資産・資金の変動

**b. 問題点**

企業活動の遂行と記録の作成・維持

(例: POS システム)

記録の統合・整理・保存・使用

(例: データベース形体による記録)

**c . 企業における意思決定と実施、ガバナンスとの関係**

判断・決定のための資料  
決定・遂行過程に関する記録

**d . 情報セキュリティ（秘密保持）・情報開示**

情報の社内での開示度  
情報の社会への開示度  
開示のプラス・マイナス  
セキュリティの維持と開示の実施の関係

**e . 企業活動の記録に関する規則（メタ情報）**

明示型・文書型  
非定型・「くちこみ」型（日本に多い、例：経理方式）

**3. 企業における「意思決定」に関する情報**

**a . 意思決定（decision making）とその実施（execution, enforcement）**

企業活動の成否を決する  
企業外部のビジネス環境 変動  
企業内部の「状態」 変動  
資本・資産、構成員、活動状態など  
最適な意思決定の発見（高度な仕事）  
意思決定は「連続する活動」  
1回だけで終わらない  
実施、学習、修正の繰り返し

**b . 意思決定のための情報収集・入手**

必要・有用な情報は事前には分からない  
すべての情報を事前に集めておくことは不利  
意思決定の「進行」と情報収集・入手が並行する

**c. 意思決定自体のための規則**

意思決定権限の所在

単独（通常は組織の長）

複数（合議・相談）

多数決

非定型（話し合い 日本型に多い）

スタッフィング（意思決定の補助活動）

情報提供

アドバイス、専門家（法律、経理、技術など）

メタ規則：意思決定のための規則決定・変更にかかる規則

**d. 意思決定における「失敗」の原因**

ワンマン型

情報不足、判断力不足

非効率的な「合議」型

決定権限・方法が不明瞭（日本型に多い）

「飾りもののトップ」型（日本型に多い）

形式的には決定権限がある

実力不足で実際には権限不足

他に依存

他によって支配される

**4. 企業外部の「ビジネス環境」に関する情報**

種別

生産物市場の情報

マーケティング

原材料・サービス市場の情報

労働市場の情報

金融市場の情報

資金調達（企業金融、ファイナンス）

外部金融とエクイティ・ファイナンス

資金運用

産業にかかる情報

公的規制にかかる情報

マクロ経済・世界経済情報